

令和8年度 福井県公立学校 教員採用選考試験 説明会



教職員課ホームページ



こちらから実施要項をダウンロードできます

教職員課 公式 Instagram



KYOUSYOKU.F

ふくい先生 魅力的やざ【教職員課】

福井県教育委員会

ふくい
教育の特長



福井県が目指す教育の姿

基本理念

一人ひとりの個性が輝く、ふくい未来を担う人づくり
～ 子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進 ～
こどものためにアクション！

<目指す人間像>

- 1 個性を発揮し、自らが思い描く人生を切り拓くために挑戦し続ける人
- 2 多様な人々の存在を認め、協働して新たな価値を生み出す人
- 3 ふるさとや自然を愛し、いつでもどこにいても社会や地域に貢献する人

「引き出す教育」・「楽しむ教育」の推進

福井の★魅力ある★取り組み

- ・ **児童生徒の**…学力、体力の向上につなげるため
- ・ **教員の**…指導力、やりがいの向上や働きやすさにつなげるため

福井の子どもたちのための 取り組みって？

- ・ ふくい理数グランプリ
- ・ ふるさと教育
- ・ 合同競技体験会
- ・ 体験プログラム
- ・ ふるさと福井の魅力
プレゼンテーション大会



個性や能力に応じたサイエンス教育

ふくい理数グランプリ



令和6年度ふくい理数グランプリ
(第14回 科学の甲子園全国大会 予選会)
【5部門】数学 物理 化学 生物 地学

チャレンジステージ (予選)
福井工業大学 学園本部福井キャンパス
令和6年8月23日(金)
グランプリ本選
福井県立豊島高等学校
令和6年9月8日(日)



広げよう科学の輪、
活かそう科学の英知

申込締切: 7月11日(木)
参加方法: 3人1組のチームで申し込み (数学グランプリは個人でも可)
主催: 福井県教育委員会
共催: 福井県高等学校教育研究会数学部会
福井県高等学校教育研究会理科部会
応援企業: 福川メック工業株式会社
株式会社 A2WAY 株式会社 smart table 株式会社 VALUE FIRST
株式会社 ヒートレーディング 株式会社 ヒラノ
株式会社 LIFECILL ifrelline プルースタイル分譲株式会社

科学の甲子園 JST 科学技術振興機構 問い合わせ先: ふくい理数グランプリ事務局 TEL: 0776-20-0295

ふくいサイエンスフェスタ



ふるさとに愛着を持つ人材の育成

小学生によるふるさと教育
の活動成果発表



令和6年度
福井
ふるさと教育
フェスタ

日時
令和7年
2月1日(土)
13:30~16:15

会場
AOSSA 8階 福井県民ホール

入場
無料

主催：福井県教育委員会
問い合わせ先：福井県教育庁義務教育課 Tel:0776-20-0575 E-mail:gimu@pref.fukui.lg.jp

伝統文化団体による
伝統文化の発表



地域の産業、社会に関わる人材の育成

<職業系高校の取り組み>



地元企業などと連携し
『魅力発信プロジェクト』



「ふくい産業教育フェア」で日頃の成果を発表

<特別支援学校の取り組み>

『就労応援サポーター企業』
を公募し、職業教育や就労支援



地元企業での職場実習

第4回 全国高校生

プレゼンテーション園

おも
私の念いを伝えられるのは、私だけ。

プレゼンテーション力が必須のこの時代
誰が一番自分の念いを伝えることができるのか
集え！ 全国の高校生諸君



全国755チームの中から選ばれた
10校で決勝大会
高志高等学校は優秀賞



福井県が求める教員の姿

「福井県教員育成指標」より

- 1 校種・教科等に関する**専門的知識・実践的技能**を持った人
- 2 専門分野に偏らない**幅広い教養**を身につけ、自立した社会人としての**良識**や**幅広い視野**を持った人
- 3 子どもたちはもとより、同僚や保護者、地域の方とも**円滑な人間関係**を築き、課題に対して**臨機応変**に対応できる人
- 4 教育に対する**情熱・使命感**に燃え、常に**学び続ける向上心**を持った人

福井の教員のための 取り組みって？

- 中学校での「タテ持ち」や「教科会」
- 授業名人の授業公開
- 校種や経験年数、世代を越えた
クロスセッションなどの教員研修
- 「引き出す教育・楽しむ教育」の実践



教師間の「協働性」の豊かさ

- 学校内外での活発な「**授業研究会**」
- 「**教科会**」…**授業の内容や進め方などを協議する場**
同じ教科の教員によって組織
- 「**タテ持ち**」…主に中学校で、教員が3学年全てで教科を
担当するシステム
同学年担当の**複数教員が協働して授業づくり**
⇒**質の高い授業が可能**

若手教員の研修制度について

若手教員研修	初任者研修	… 校外研修14日 + 校内研修
	2年目研修	… 校外研修 5日
	3年目研修	… 校外研修 3日

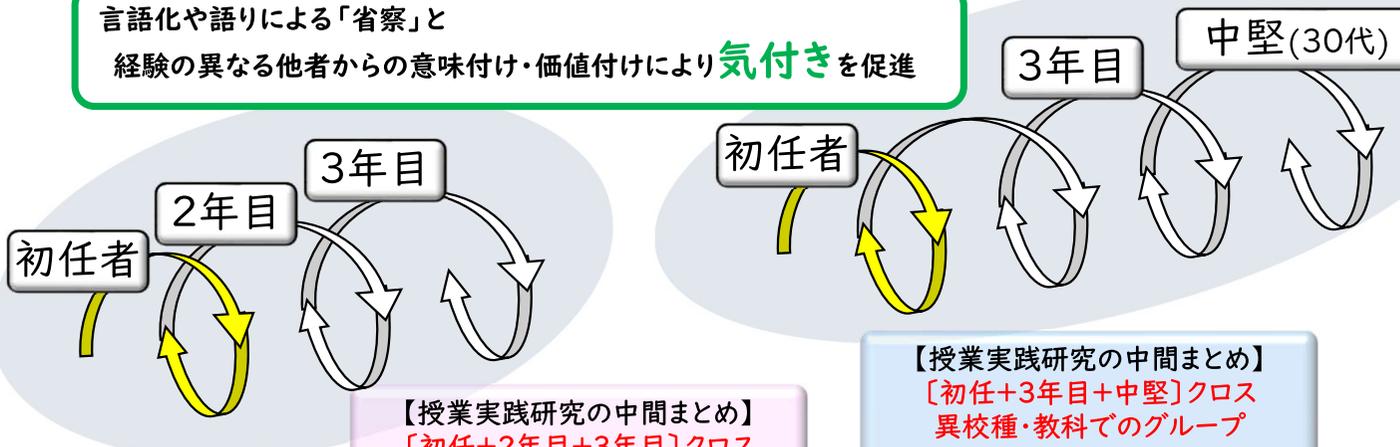
初任者の授業実践研究

各学校や個人では設定が難しい → 教育委員会が設定

「校内の同僚教師だけでなく、同一校種の他の学校の教師、別の学校種の教師など日常的に接する機会が少ない教師との協働的な学びは、対話を通じて、他の教師の教育実践を傾聴したり、自らの教育実践を振り返ったりすることで、自らの経験を再構成することにつながり、専門職としての教師の成長がより深化していく。」

(『研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励に関するガイドライン』(文部科学省 2022.8)より)

言語化や語りによる「省察」と
経験の異なる他者からの意味付け・価値付けにより**気付き**を促進



【授業実践研究のテーマ設定】
同校種・教科でのグループ

- ・設定したテーマの共有
- ・今後の実践の計画

【授業実践研究の中間まとめ】
[初任+2年目+3年目]クロス
同校種・教科でのグループ

- ・半年間の実践の振り返り、共有
- ・今後の実践に向けた修正

【授業実践研究の中間まとめ】
[初任+3年目+中堅]クロス
異校種・教科でのグループ

- ・年間の実践の振り返り、共有
- ・次年度の実践に向けた修正

【学習指導における課題・工夫】
同校種・教科でのグループ

- ・4月からの取組みの振り返り、共有
- ・授業実践研究のテーマ設定へ

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----

①初任者研修（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭）

	研修内容	対象	指標で求める 資質・能力
第1日 4月2日	教育庁講話 教育総合研究所長講話 教職員の服務 人権教育 「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び 学級づくり	小中高特	素養 生徒指導
第2日 春季休業中の受講 を推奨 オンデマンド	NITS基礎的研修シリーズNo.3 「まずは一社会人として～挨拶、言葉遣い、報・連・相～」	小中高特	素養
	NITS基礎的研修シリーズNo.4 「スクール・コンプライアンス」		
	NITS基礎的研修シリーズNo.5「学校の組織、チーム学校」		
	通信型研修「学級づくりシリーズⅠ」	小中高	生徒指導 特別な配慮 や支援
	NISE学びラボ「多様な学びの場(特別支援学校の教育)」	特	
第3日 4月17、18、22、 24日のうち指定さ れた1日	I C Tを活用した授業づくり	小中高特	学習指導 I C T等の利 活用
オンデマンド	通信型研修「情報セキュリティの基礎」		I C T等の利 活用
第4日 5月22、29日 のうち指定された 1日	学習指導要領の理念 教科別研修Ⅰ 授業づくり	小中高	学習指導
	授業実践研究Ⅰ（個別研究のテーマ） 特別支援教育概論 障がいの理解	特	学習指導 生徒指導 特別な配慮 や支援
第5日 6月5、12、13日 のうち指定された 1日	教職員のメンタルヘルス 同僚性の構築 NIE、環境教育	小中高特	素養 ふくいの力
第6日 6月26日、7月3日 のうち指定された 1日	児童・生徒理解（自殺防止等） 学級づくり ふくいの教育 授業づくり 授業実践研究Ⅰ（テーマ設定、個別研究の経過報告）	小中高特	学習指導 生徒指導 ふくいの力
	オンデマンド NITS基礎的研修シリーズ No.23「不登校」		生徒指導
第7日 7月10日 オンライン	道徳の授業づくり 特別支援教育の基礎（発達障がいへの対応）	小中	学習指導 生徒指導 特別な配慮 や支援
6月25日	特別支援教育の基礎（発達障がいへの対応） 特別支援教育の現状と課題	高特	
第8日 各自申込	授業研究（公開授業参観および研究協議会参加）	小中高特	学習指導
オンデマンド	通信型研修「授業のユニバーサルデザイン」		

第9日 10月2、9日 のうち指定された 1日	体育に関する安全管理と指導	小	学習指導
9月25日	高校教育の現状と課題 教科指導の実際（公開授業参観等）	中高	
オンデマンド	NITS校内研修シリーズNo.110「キャリアパスポート」	小中高	生徒指導
9月下旬	生徒指導特別支援教育に関する課題研究 授業実践研究Ⅰ（個別研究の中間報告） 教科指導の基礎	特	素養 学習指導
第10日 10月中旬～ 11月上旬 開催する8日のうち いずれか1日	授業実践研究の共有 （初任者・2年目・3年目のクロスセッション）	小中高特	素養 学習指導 ふくいの力
オンデマンド	NITS基礎的研修シリーズ No.27 「学び続ける教師をめざして～学びを深める校内研修～」	小中高	素養
	NISE学びラボ「障害種別の専門性」	特	特別な配慮 や支援
第11日 11月20、27日 のうち指定された 1日	健康安全教育 学びの接続を意識した授業づくり 教育相談とカウンセリング	小中高特	素養 学習指導 生徒指導 ふくいの力
オンデマンド	教科指導に関する通信型研修講座		学習指導
第12日 1月下旬～2月上旬 開催する6日のうち いずれか1日	教育実践研究の共有 （初任者・3年目・中堅のクロスセッション）	小中高特	素養 学習指導 ふくいの力
オンデマンド	通信型研修「道徳教育の基礎」	小中特	
	NITS校内研修シリーズNo.81 「高等学校における道徳教育の充実に向けて」	高	学習指導
第13日	地域別授業実践研究（市町教委等が計画・実施）	小中	素養 学習指導
	授業実践研究と研究協議（高校教育課が計画・実施）	高	
	テーマ別協議 （特別支援教育センターが計画実施・オンライン）	特	素養
第14日	地域別授業実践研究（市町教委等が計画・実施）	小中	素養 学習指導
	授業実践研究と研究協議（高校教育課が計画・実施）	高特	

2年目研修

	研修内容	指標で求める 資質・能力
第1日 5月8日 嶺北小 5月9日 嶺南小中 5月13日 嶺北中、高特	(事前研修) 通信型研修「保護者との関係づくり」	素養
	「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び	素養
	学級運営①	学習指導
	授業実践研究Ⅱ (授業実践研究の意義と方法)	生徒指導
第2日 6月25日 オンライン	I C Tタブレット活用	I C T等の利活用
オンデマンド	通信型研修「人権教育」	素養
第3日 小特 各自申込 中高 8月21日 オンライン	【小学校】教科別研修Ⅱ ・教科に関する研修を1日分選択 ①専門性向上研修 (小学校対象の教科に関する講座) 半日+半日 ②専門性向上研修 (小学校対象の教科に関する講座) 半日+通信型研修 【中・高】主体的・対話的で深い学びの指導と評価 【特支】特別支援教育研修 ・特別支援教育センターの研修から1講座選択	学習指導 特別な配慮や支援
第4日 10月中旬～11月上旬 開催する8日のうち いずれか1日	授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション)	素養 学習指導
1月中旬～2月上旬 開催する3日のうち いずれか1日 オンライン	授業実践研究Ⅲ (授業実践研究の進め方)	ふくいのか
第5日 各自設定	ボランティア活動	素養 ふくいのか

3年目研修

	研修内容	指標で求める 資質・能力
第1日 5月8日 嶺南小中 5月9日 嶺北中、高特 5月14日 嶺北小	「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び 学級運営② 校種別研修 授業実践研究Ⅳ (授業実践研究の深め方)	素養 学習指導 生徒指導
第2日 10月中旬～11月上旬 開催する8日のうち いずれか1日	授業実践研究の共有 (初任者・2年目・3年目のクロスセッション)	素養 学習指導 ふくいのか
オンデマンド	通信型研修「人権教育」	素養
第3日 1月下旬～2月上旬 開催する6日のうち いずれか1日	教育実践研究の共有 (初任者・3年目・中堅のクロスセッション)	素養 学習指導 ふくいのか
オンデマンド	通信型研修「学級づくりシリーズⅢ」	生徒指導

教員の自主的な研究活動に対する支援

教員学習会に対して上限20万円の補助

• 次世代教育開発研究

(生成AIやChatGPT、メタバースなどのICT技術を効果的に活用した指導方法等の研究)



• 教員技能向上研究

(文献研究や先進校視察等を通して、授業力向上を図るための実践研究や教材開発)



働き方改革について

- 学校運営支援員、部活動指導員の活用促進
- 小学校高学年の教科担任制の拡充
(算数・理科・外国語・体育)
- 地域・保護者への協力の依頼
- 業務改善優良校の取組みの共有 (GGKニュース)等
- 教員免許状を取得しながらも教職に就かなかった方を対象にした説明会を実施
- 教職員と県教育長が意見交換する「ふくい教育ミライ会議」を県内19カ所を実施
- 教員の「働きがい」と「働きやすさ」を調査するために教員Webアンケートを実施
- 「ふくいの教育 ミライレポート」を作成し、市町教育委員会・各学校へ周知



働き方改革について

部活動指導員

	R4	R5	R6
中学校	71	102	124
高等学校	88	149	163

例えば・・・

- ・平日の放課後、教諭が担当業務をしている時間の指導
- ・休日、練習試合の引率

など

あなたの青春時代の経験、特技を活かして
学校部活動で活躍してみませんか？

部活動指導員 募 集 中

「部活動指導員」とは、生徒にとって望ましい活動環境の構築と教員の働き方改革の実現のために、学校教育法施行規則第78条の2に規定されている、部活動の顧問業務をお任せする職です。

＼こんな方が活躍しています！

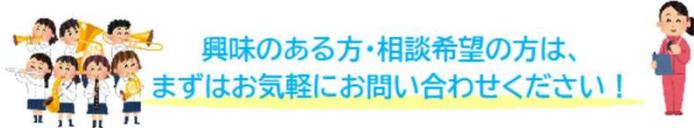
- ・教員養成課程で学んでいる学生・将来教員を目指している学生
- ・企業で働きながらスポーツを続けている方
- ・地域にもっと貢献したいと考えている公務員の方
- ・定年退職後のセカンドステージで特技を活かしたいと考えている方 など

●勤務日
平日(月～金)のうち、4日・2時間程度/日 ・ 休日(土、日)※のうち1日3時間程度
(長期休業期間や大会引率は上記と異なることがあります。)
※中学校の休日における部活動は、現在地域移行が進められています。

●業務
部活動顧問業務(生徒指導・技術指導・引率・活動計画の作成等)
☆教員の働き方改革を目的とする職のため、原則単独指導・単独引率

●勤務先
福井県内の県立中学校・高等学校、市町立中学校の各学校管理下で行われる部活動
☆県立学校は県の会計年度任用職員、市町立学校は市町の会計年度任用職員という立場になります。

●報酬
県、各市町により異なります(1,400円～2,000円/時 程度)



市町立中学校でのご指導希望の場合は、県より各市町教育委員会へ紹介いたします。

福井県教育庁教職員課 学校業務改善グループ
〒910-8580 TEL:0776-20-0563
福井県福井市大手3丁目17番11号 11階 E-mail:kyosyoku@pref.fukui.lg.jp

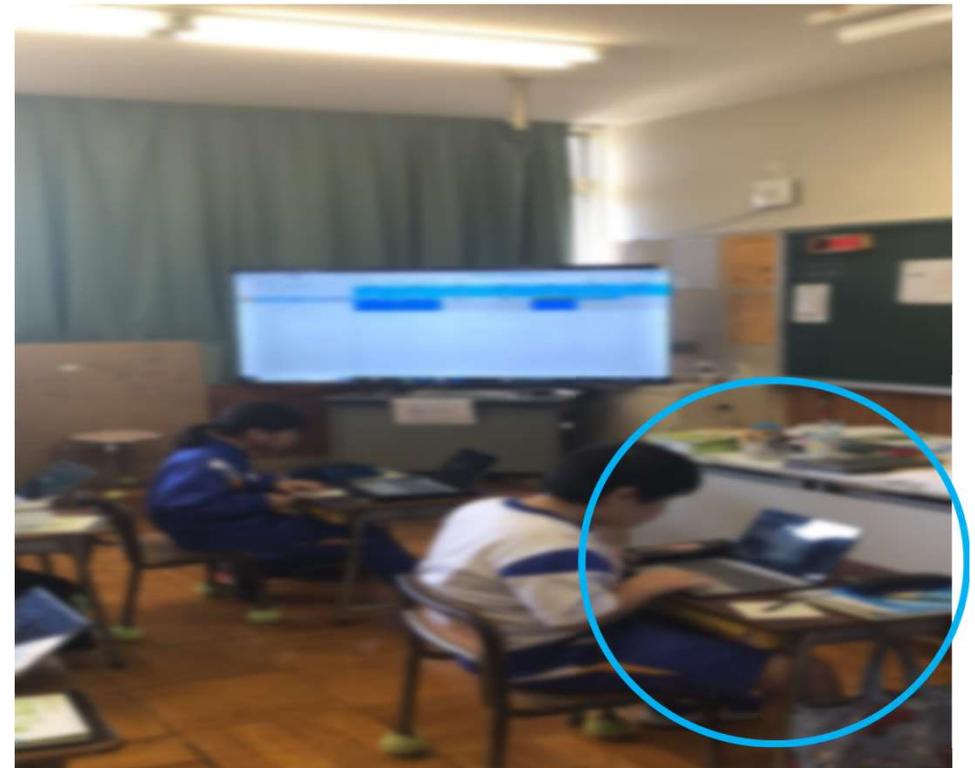
働き方改革について

DXの推進

- ・全市町共通の校務支援システムの導入促進



- ・タブレットの有効活用、デジタル採点の活用促進



働き方改革について

業務改善の実践を共有

(業務改善通信〈GGKニュース〉)

ふくいの子供たちと先生のウェルビーイングのための GGKニュース2024
 Gakko Gyomu Kaizen
 VOL.4 令和6年11月26日発行
 発行：福井県教育庁 教職員課 学校業務改善グループ

今年度、各学年単学級や複式学級のある小学校へ複数訪問させていただいています。児童数の減少により規模の小さくなってきた学校が、子どもたち一人ひとりの多様性を大事にして主体的な学びの機会を作りつつ、教員のウェルビーイングを実現するには、どんなことができるでしょうか？

あわら市 北潟小学校
日ごろのコミュニケーションで
地域と共に働き方改革

小規模だからこそ、日ごろのコミュニケーション重視 = 生の意見を聞き取りやすい

●PTA関連行事の見直し●

児童数減=会員数減 負担の大きい行事を見直し
 ★年度中の柔軟な見直しを実施★

令和5年度まで
 ○資源回収 年3回 ①6月・②11月・③2月
 ○奉仕作業 年2回 ①5月・②8月
 区民体育祭前 運動会前
 ○広報発行 年2回発行 今後、負担軽減へ向け、回数減等を検討

抱き合わせの同時開催で保護者の負担も軽減

運動会の見直し
 R5 9月上旬開催 → R6 9月下旬開催(練習時間を短縮 or スリム化 負担を軽減して開催)
 まだまだ難しい...

R7~方向性 PTAからの意見も受け、平日開催を検討
 主な理由：土日にスポーツ少年団等の大会が入っている児童が現行の運動会に出られない可能性考慮
 運動会当日の欠席が分かっている児童の練習に対するモチベーションが他の児童にも影響する可能性
 今後、中学校での休日の部活動地域移行を見送った小学校高学年段階からのスポーツ継続にも影響が出る可能性

●子どもたちの主体性を育む取組●

★委員会活動 子どもたちを中心に、子どもたちを前に 教員が出すぎない

★修学旅行 じっくり子どもたちが話し合う時間を確保→当日のスムーズな行動につながった

大切なのは
 こんなこと！ 子どもたちに委ねる分、時間がかかる = 教員側の時間と心のゆとりが必要
 他の担任や担当と相談したり、経過報告を受けたり...が大切

●校時表の見直し● VOL.19 (臨時立寄り小の事例も参考に) GGKニュース2023

令和5年度版

曜	日	月	火	水	木	金
朝読書						8:00
朝学習		8:00				8:15
朝の会		8:15				8:25
1 限		8:25				9:10
2 限		9:20				10:05
業間		10:05 ~ 10:25				(10分休み)
3 限		10:25 ~ 11:10				10:15 ~ 11:00
4 限		11:20 ~ 12:05				11:10 ~ 11:55
給食		12:05 ~ 12:50				11:55 ~ 12:40
昼休み		12:50 ~ 13:20				(清掃なし)
休		(金 ~ 13:30)				12:40 ~ 13:00
課		13:20 ~ 13:30				(清掃なし)
5 限		13:40 ~ 14:25				13:00 ~ 13:45
帰りの会		14:25 ~ 14:35				13:45 ~ 13:55
6 限		14:35 ~ 15:20				13:55 ~ 14:40
下校		15:30				14:50
★スクールバス						7限(水)クラブ/委員会 14:50~15:35 ★下校(スクールバス)15:45

令和6年度版

曜	日	月	火	水	木	金
朝活動			8:00			8:10
朝の会		8:10				8:20
1 限		8:20				9:05
2 限		9:15				10:00
業間		10:00				10:20
3 限		10:20				11:05
4 限		11:15				12:00
給食		12:00				12:45
昼休み		12:45 ~ 13:15				12:45 ~ 13:05
清掃		13:15 ~ 13:25				(清掃なし)
5 限		13:35 ~ 14:20				13:05 ~ 13:50
帰りの会		14:25 ~ 14:35				13:55 ~ 14:05
下校		★スクールバス 14:40				★スクールバス 14:10
6 限		14:35 ~ 15:20				3年~6年 2年~6年 4年~6年 14:35~15:20 14:05 ~ 14:50
下校		★スクールバス 15:30				★スクールバス 15:00
クラブ/委員会 (水曜日)		純礼 月・水・金 16:20~16:30 →見直し 5月中旬~金のみ				クラフター6年~6年(職員6年~6年) 金曜日 15:00~15:45 放課後のゆとり
下校						★スクールバス 15:55

★午前中の時間にバラつきがないので、教職員も子どもたちもどちらも安心！
 ★5限と帰りの会の間に5分間のトイレ休憩を設け、十分な帰りの会の時間確保

“ふくい教育ミライ会議”の様子をちょっと紹介
 ~奥越地区開催“ふくい教育ミライ会議”に寺井CODとインターン生が参加！~
 8月21日(水)大野市の「きなり」にて、奥越地区でのふくい教育ミライ会議を開催しました。
 この日は、福井県庁の学生インターンの期間で、行政職志望の3名の学生も一緒に参加しました。インターン生から先生方に、「子どもたちの主体性を育むために何をしていますか？」という質問も飛び出し、和気あいあいの活気の中で本音でお話できていたようでした。
 そして、この日はさらにゲストが！福井県未来創造部の寺井優介チャレンジ応援ディレクター(通称 寺井COD)も駆けつけてくれました。
 先生方と、生徒の進路指導や多様な学び、探究活動につながる地域人材の新規開拓等に関する話で盛り上がり、寺井CODからは、若者チャレンジ応援の活動の中で県内の方が立ち上げられた「こみかる」の紹介もありました。(詳細は、寺井CODのSNSへ！)

福井県庁には、「ディレクター」という、様々なプロジェクトに関連する分野の各部の若手職員とともに部局横断的なチームを結成し、県政の重要課題解決に取り組む役割があります。SNSや報道でご存じの方も多いかと思いますが、寺井CODもその一人で、若者のチャレンジを応援する取組に毎日奔走しています。
 実は今年度、県庁の「ディレクター」を含めた8名の若手職員が、「福井県探究学習サポート」に県教育委員会から委嘱されていて、高校生等の探究学習をサポートする活動もしています。

編集後記
 GGKニュース担当も、「ふくい教育ミライ会議」の2つの地区に参加し、その中で、「毎回GGKニュースを楽しみにしています！」という声も頂きました。ますます県内を走り回らなければ！と改めて決意した次第です。今後も取材依頼をお寄せください！

福井県 教職員 働き方
 取材、伴走・支援のための訪問等のご要望は、
 県教育庁教職員課学校業務改善グループまでお寄せください！

令和6年4月

保護者・地域の皆様へ

福井県教育委員会
福井県PTA連合会
福井県高等学校PTA連合会

**教職員が子どもたちと向き合う環境づくりのために
「学校における働き方改革」を推進しています**

教育活動を充実したものにするためには、教職員が健康で生き生きと働くことが大切です。子どもたちと向き合う時間や授業準備の時間を十分に確保できるよう、教育的な効果を踏まえながら学校の役割や教職員の働き方を見直していきます。今後とも「学校における働き方改革」の取組みについて、ご理解とご協力をお願いします。

<教職員の勤務時間について>

- 電話連絡等は、各市町や学校で設定した時間内をお願いします
- 面談等は勤務時間内の設定を原則としています

<行事について>

- 学校行事のねらいや子どもたちの状況を踏まえた上で、時間短縮・規模縮小・地域の行事との統合など工夫して実施しています
- 休日の地域の行事・イベント等は、教員が参加できないこともあります

<DX推進について>

- 端末を通して課題を配付・回収するなど、ペーパーレス化を推進しています
- アンケート調査やお便り、欠席連絡など、学校・保護者間の連絡等のオンライン化を推進しています

<部活動について>

- 指導・引率を部活動指導員だけで行うことがあります
- 中学校における休日の部活動については、順次、地域移行を進めています

<学校への支援・協力について>

- PTA等の会議の回数縮減、時間短縮、オンライン化を推奨しています
- 地域の皆様で学校運営支援員や部活指導員等にご協力いただける方は、教育委員会・学校までご連絡ください
- 登下校の見守り等についても、地域の皆様のご協力をお願いします

<教職員の勤務時間について>

- 電話連絡等は、各市町や学校で設定した時間内をお願いします
- 面談等は勤務時間内の設定を原則としています

<行事について>

- 学校行事のねらいや子どもたちの状況を踏まえた上で、時間短縮・規模縮小・地域の行事との統合など工夫して実施しています
- 休日の地域の行事・イベント等は、教員が参加できないこともあります

<DX推進について>

- 端末を通して課題を配付・回収するなど、ペーパーレス化を推進しています
- アンケート調査やお便り、欠席連絡など、学校・保護者間の連絡等のオンライン化を推進しています

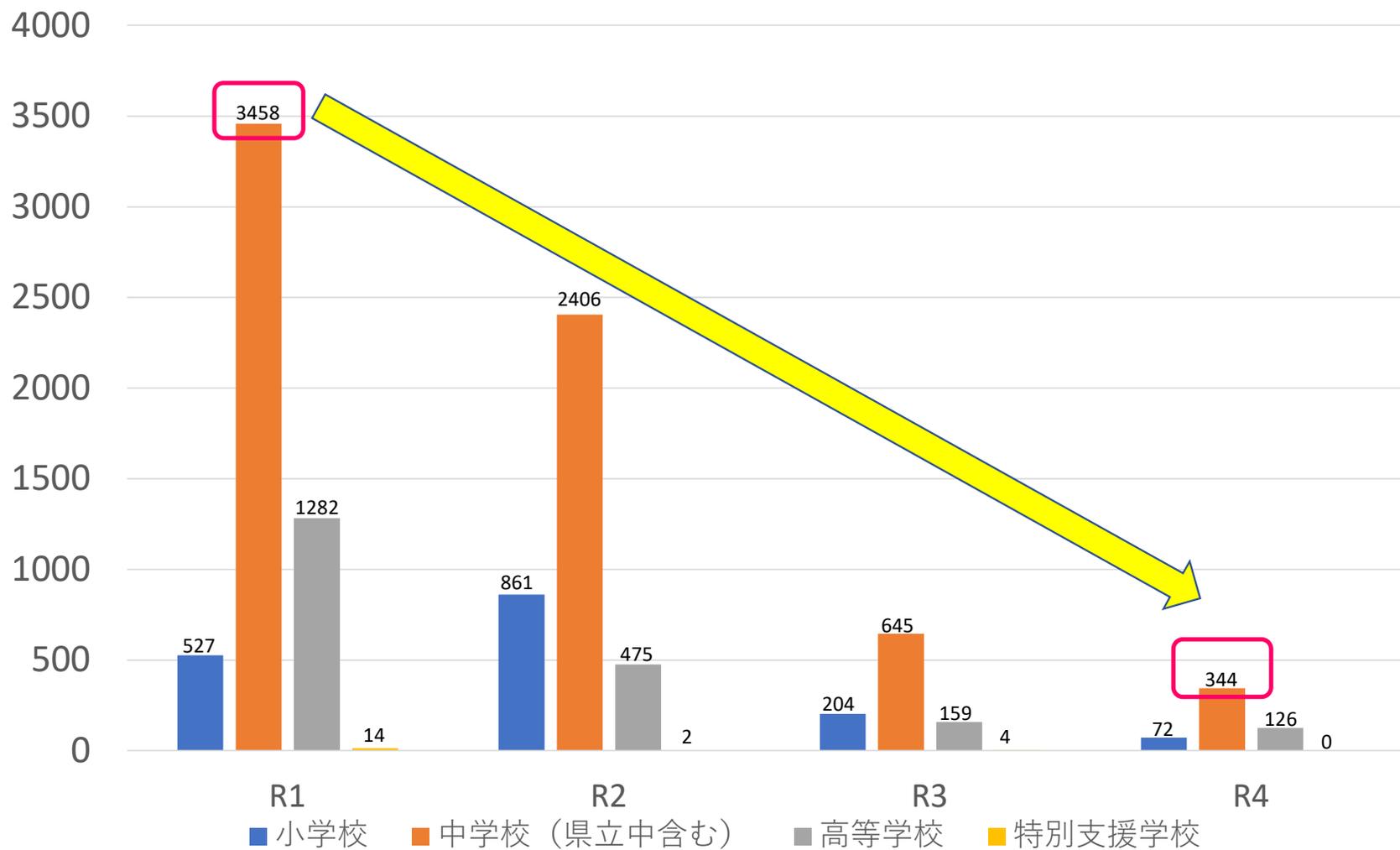
<部活動について>

- 指導・引率を部活動指導員だけで行うことがあります
- 中学校における休日の部活動については、順次、地域移行を進めています

<学校への支援・協力について>

- PTA等の会議の回数縮減、時間短縮、オンライン化を推奨しています
- 地域の皆様で学校運営支援員や部活指導員等にご協力いただける方は、教育委員会・学校までご連絡ください
- 登下校の見守り等についても、地域の皆様のご協力をお願いします

【時間外在校等時間月80時間超の推移】





ありのままの自分で
子どもたちに向き合っています

- FUKUI TEACHER - 福井の先生になろう

1人ひとりのストーリーはQRコードから



福井の学校の先生が教職のやりがいや魅力などを熱く語った動画や手記を掲載しています

福井県教育庁教職員課
〒910-8580 福井市大手3丁目17-1
TEL 0776-20-0563

ぜひ、ご視聴ください。



先生の色 いろいろ ~ ふくい先生ストーリー ~



教職員課HP KYOUSYOKU.F

福井の学校の先生が教職のやりがいや魅力などを熱く語った動画や手記を掲載しています
福井県教育庁教職員課
〒910-8580 福井市大手3丁目17-1
TEL 0776-20-0563

教員の給与について

• 大学4卒の初任給は・・・

令和5年は 214,200円

令和6年は 226,100円

令和7年は 252,000円

さらに・・・ 教職調整額、義務教育等教員特別手当が支給されて・・・

約265,000円

教員の給与について

・教職調整額について

現在は月額額の4%の額が支給されています。

今後、5年間かけて10%まで引き上げられる予定です。

令和8年度は 5%

令和9年度は 6%



令和12年度は 10%

例えば・・・

月額が300,000円場合

現在は、教職調整額は12,000円ですが



5年後の教職調整額は、
30,000円

教員の休暇制度について

職員の休暇は

年次休暇

特別休暇

介護休暇

病気休暇

教員の休暇制度について

年次休暇

1年間で**20日**与えられます。（新採用の方は**15日**です）
前年の分は最大で20日繰り越しができます。

例えば・・・



教員の休暇制度について

特別休暇

産前産後休暇

- ・ 出産予定日の前後**8週間**
- ・ 男性の育児参加休暇や配偶者出産休暇もあります

結婚休暇

- ・ 結婚したときに**7日間**取得できます

夏季休暇

- ・ 夏季期間に**5日間**取得できます

家族看護休暇

- ・ 「子どもが熱を出した」
 - ・ 「子どもの小学校入学式に参加する」
 - ・ 「家族の予防接種に付き添う」 など
- 5日間**（親族が2人以上の時は**10日間**）

など、他にも様々な休暇があります。

教員の休暇制度について

介護休暇

- ・ 介護が必要な家族がいる場合に取得できる休暇です。1時間単位で取得が可能です。

病気休暇

- ・ 負傷または疫病のため療養が必要な場合に取得できます。
- ・ インフルエンザやコロナウイルス感染症にかかってしまった場合も取得できます。

教員の育児休業等について

制度	内容・取得事由(要件)	給与
育児休業	・子どもが3歳になるまで	無給 休業手当金あり
産後パパ育休	・子の出生後8週間になるまで	無給 休業手当金あり
育児短時間勤務	・教職員が希望する日・時間帯で勤務できる ①週5日・3時間55分ずつ勤務(19時間35分/週) ②週5日・4時間55分ずつ勤務(24時間35分/週) ③週3日・7時間45分ずつ勤務(23時間15分/週) ④週3日のうち、2日が7時間45分、1日が3時間55分 (19時間25分/週) ・子どもが小学校に入るまで	勤務しない 時間は無給
部分休業	・1日につき2時間まで勤務しないことを認める (勤務時間緒始めまたは終わりに30分単位で取得可能) ・子どもが小学校に入るまで	休業部分は 減額

制度	内容・取得要件等
早出遅出勤務	・勤務時間を前後にずらすことができる(1日の勤務時間は7時間45分) ・学校長と相談のうえ、校務の運営に支障がないと認められる範囲で実施

令和8年度
教員採用選考試験
について



スケジュール

採用予定数

選考の種類

免除制度

併願

大学院特別選考

資格加点

次年度以降

福井県 教員



いいね! 24

ツイートする

福井県公立学校教員採用選考試験情報

最終更新日 2025年2月20日 | ページID 054753 [印刷](#)

このページでは、福井県公立学校教員採用選考試験の情報を掲載しています。福井県の教員を目指している方や教職に興味のある方は、ぜひこちらのページをご覧ください。

- 採用・資格試験**
- ▶ 職員採用試験
 - ▶ 教員採用試験
 - ▶ 産休・育休等代替職員採用試験
 - ▶ 資格試験

福井県の教員になりませんか?
▼

今年度の教員採用選考試験について
▼

過去の教員採用選考試験について
▼

受験情報

令和8年度福井県公立学校教員採用選考試験の出願・第1次選考・第2次選考についての情報を掲載しています。

出願について

◆令和8年度福井県公立学校教員採用選考試験実施要項（4月25日公開）



◆電子申請について

★ 電子申請受付期間：5月1日(木)9時～5月21日(水)19時

★ **【電子申請】受験手続ログイン画面**は[こちら](#)から（5月1日9時受付開始）

※5月19日(月)22時～5月20日(火)6時(最長)の期間はシステムが停止します。この期間は申請できませんのでご注意ください。

★ **「出願申請マニュアル」**のダウンロードは[こちら](#)から（4月30日公開）



★ 志願書について

「志願書」の記入例は[こちら](#)から（4月30日公開）

「志願書（チャレンジ第1次選考）」の記入例は[こちら](#)から（4月30日公開）

◆書類の提出について

★ 書類提出受付期間：5月1日(木)～5月23日(金)当日消印有効

★ 書類のダウンロード（印刷するときはA4サイズに設定して印刷してください。）

「**各種 調書・申請書**」のダウンロードは[こちら](#)から（4月25日公開）

「**提出書類郵送用封筒貼付票**」のダウンロードは[こちら](#)から（4月25日公開）

**免除の申請や特別選考受験
希望者は提出してください**

この部分は切り取ってください。
封筒の下辺に揃えて貼り付けてください →



切り取り

〒910-8580
福井市大手3丁目17番1号
福井県教育庁教職員課
教員採用選考試験 係

教員採用選考試験提出書類 在中

受付番号1	
受付番号2	
氏名	
選考区分	
	職種・教科等
第1希望	免除
第2希望	

提出書類について

[実施要項P11、12参照](#)

出願は、**電子申請で登録**していただいた後、**必要書類を提出**して完了となります。

【全員提出のもの】

- ① **令和8年度福井県公立学校教員採用選考試験志願書
(A4両面カラー印刷)**
- ② **返信用封筒2枚**

【必要に応じて提出するもの】

- ア 各種免除の申請に必要な書類**
- イ 加点申請に必要な書類**

(データ)：電子メールで提出

(郵送)：紙文書を郵送で提出

提出書類について

出願は、**電子申請で登録**していただいた後、**必要書類を提出**して完了となります。

(データ)：電子メールで提出

(郵送)：紙文書を郵送で提出

ファイル名は、「**氏名 + 生年月日 (半角数字8桁) + (調書名)**」
としてください。

例えば・・・

1998年1月9日生まれの福井太郎**さんが**第1次選考免除調書B**を提出する場合は**

ファイル名は

「**福井太郎19980109第1次選考免除調書B**」

受験資格

一般選考

[実施要項P4参照](#)

次のア～ウのすべての要件を満たす者

- ア 学校教育法第9条および地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない者
 - イ 昭和41年4月2日以降に生まれた者（令和8年4月1日現在60歳未満の者）
 - ウ 受験する職種、校種・教科に相当する教諭、養護教諭、栄養教諭のいずれかの普通免許状を所有する者、または令和8年3月31日までに取得見込みの者
- ※「中高一括」は、中学校または高等学校いずれかの普通免許状のみ所有の場合でも受験可能です。
- ※「大学院特別選考」を希望する者においては、[P13](#)の条件も確認すること
- ※「嶺南採用枠」を希望する者においては、[P15](#)の条件も確認すること

チャレンジ第1次選考

[実施要項P17参照](#)

次のア～ウのすべての要件を満たす者

- ア 学校教育法第9条および地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない者
- イ 昭和42年4月2日以降に生まれた者（令和8年4月1日現在59歳未満の者）
- ウ 受験する職種・校種・教科に相当する教諭、養護教諭、栄養教諭のいずれかの普通免許状を、令和8年4月2日から令和9年3月31日までに取得見込みの者

[実施要項P18参照](#)

特別選考

- 提出された書類等で審査が行われ、「特別選考対象者」となった者が受験できます。

採用予定者数について

[実施要項P4参照](#)

下の表の太字が、志願時に入力する「受験する校種・教科等」の名称となります。

募集する校種・教科等と採用予定者数										
教諭	小学校 131名程度									
	<table border="1"> <tr> <td>中高国語 11名程度</td> <td>中高社会 11名程度</td> <td>中高数学 12名程度</td> </tr> <tr> <td>中高理科 11名程度</td> <td>中高英語 15名程度</td> <td>中高音楽 4名程度</td> </tr> <tr> <td>中高美術 4名程度</td> <td>中高保体 7名程度</td> <td>中高家庭 4名程度</td> </tr> </table>	中高国語 11名程度	中高社会 11名程度	中高数学 12名程度	中高理科 11名程度	中高英語 15名程度	中高音楽 4名程度	中高美術 4名程度	中高保体 7名程度	中高家庭 4名程度
	中高国語 11名程度	中高社会 11名程度	中高数学 12名程度							
	中高理科 11名程度	中高英語 15名程度	中高音楽 4名程度							
	中高美術 4名程度	中高保体 7名程度	中高家庭 4名程度							
	中学校 中学技術 2名程度									
高等学校 高校農業 4名程度 高校工業 6名程度 高校商業 1名程度 高校情報 1名程度										
特別支援学校(特別支援学級を含む) 25名程度										
養護教諭 3名程度										
栄養教諭 1名程度										

嶺南採用枠
10名を含む

併願制度

[実施要項P4参照](#)

第2希望 第1希望	小学校	中高一括	中学技術	高等学校 (農・工 ・商・情・福)	特別支援 学校	養護教諭	栄養教諭
小学校		○	○	×	○	×	×
中高一括	○		○	○	○	×	×
中学技術	○	○		○	○	×	×
高等学校(農・工・商・情・福)	×	○	○		○	×	×
特別支援学校	○	○	○	○		×	×
養護教諭	×	×	×	×	×		×
栄養教諭	×	×	×	×	×	×	

***教科等専門のみ、複数校種を受験。他の試験は共通。**

選考試験のスケジュール

4月25日（金）	実施要項公開
5月1日（木） ～23日（金）	願書受付期間（電子申請は21日（水）19:00まで） ※提出書類は23日（金）当日消印有効
6月下旬	受験票等発送
6月28日（土） 29日（日）	第1次選考（一般・教職、教科等専門）
7月下旬	第1次選考結果発表、特別選考の詳細日程等発送
8月1日（金） ～8日（金）	第2次選考（小論文） … 8月1日（金） 第2次選考（個人面接） … 8月1日（金） 4日（月）～ 8日（金） 特別選考… 8月1日（金）
9月末	第2次選考結果（採用内定者）発表

選考の種類

一般選考

第1次選考

- 一般・教職（筆記）
- 教科等専門（筆記）
- 一部教科は実技試験あり

第2次選考

- 適性検査（→オンラインで実施）
- 小論文
- 個人面接Ⅰ、Ⅱ
- 嶺南採用枠希望者は別途面接

チャレンジ第1次選考

第1次選考のみ

- 一般・教職（筆記）
- 教科等専門（筆記）
- 一部教科は実技試験あり

特別選考

- 障がい者
- 盲学校保健理療科担当教員
- 大学院修了時
- 教育エキスパート

※事前に書類審査を行います。

一般選考の試験について

第1次選考 と 第2次選考

一般選考の試験について

第1次選考（6月実施）

- ◎ **一般・教職**（一般教養と教職専門を1つにまとめて実施）
- ◎ **教科等専門**（受験する校種、教科の専門試験）

第1次選考試験日の日程

[実施要項P25参照](#)

第1日 6月28日 (土)

8:40	9:00	9:20	9:35	10:20	10:50	12:00	12:30	12:50	13:10	14:20	
受付	出欠確認 諸注意		一般・教職 45分		小学校 70分		【中学技術】 一部免除者 受付		出欠確認 諸注意	中学技術 70分	
			9:50	10:10	10:30	高校（農・工・商・情） 70分					
			【小・高・養・栄】 一部免除者 受付		出欠確認 諸注意		養護教諭・栄養教諭 70分				

第2日 6月29日 (日)

8:40	9:00	9:20	9:35	10:20	17:00	
受付	出欠確認 諸注意		中高一括（音・美・体・家） 筆記 45分		中高一括（音・美・体・家） 実技 中高一括（英） 英語口頭試問	
			中高一括（国・社・数・理・英） 70分			
			10:25	10:45	11:05	12:15
			【特別支援】	受付	出欠確認 諸注意	特別支援 70分

試験会場

[実施要項P24参照](#)

	期 日	内 容	会 場
福井会場	6月28日(土)	一般・教職、小学校、中学技術、 高等学校（農・工・商・情）、 養護教諭、栄養教諭	福井県立高志高等学校 （福井市御幸2丁目25-8）
	6月29日(日)	中高一括、特別支援学校 ※中高一括（音・美・体・家）実技 中高一括（英）英語による口頭試問	★「中高音楽」実技のみ 福井市旭小学校 （福井市手寄2丁目2-5）
東京会場	6月28日(土)	一般・教職、小学校、中学技術、 高等学校（農・工・商・情）	（公益財団法人）都道府県センター （東京都千代田区平河町2-6-3）
	6月29日(日)	中高一括（国・社・数・理のみ）、 特別支援学校	

※実技試験等の日程の詳細については、試験当日にお知らせします。

東京会場では、中高一括（英・音・美・体・家）、養護教諭、栄養教諭の試験は実施しません。

★「中高音楽」実技については、筆記試験後に高志高等学校から旭小学校まで移動します。（徒歩約10分）

VIII 選考基準

1 一般選考

実施要項P27参照

(1) 第1次選考 ※基準点については公表していません。

選考内容	選考基準
一般・教職 100点	<ul style="list-style-type: none"> ・「一般・教職」が基準点に達した者に対して、「教科等専門」に「教育職員免許状複数所有による加点」、「司書教諭資格による加点」、「外国語資格による加点」、「情報関連資格による加点」を加えた点数順に選考する。 ・第1希望、第2希望のそれぞれについて合否を判定する。
教科等専門 (一部校種・教科には実技を含む) 200点	

(2) 第2次選考

選考内容	選考基準
個人面接 250点	<ul style="list-style-type: none"> ・校種・教科別に「個人面接・小論文の結果」に「教育職員免許状複数所有による加点」、「司書教諭資格による加点」、「外国語資格による加点」、「情報関連資格による加点」を加えた点数順に選考する。ただし、個人面接が基準に達していない場合には、不合格とする。 ・第1希望、第2希望ともに合格基準にある場合は、第1希望での合格とする。
小論文 50点	

2 チャレンジ第1次選考 ※基準点については公表していません。

選考内容	選考基準
一般・教職 100点	<ul style="list-style-type: none"> ・「一般・教職」が基準点に達した者に対して、「教科等専門」の点数順に選考する。 ・第1希望、第2希望のそれぞれについて合否を判定する。 ★「一般選考」の第1次選考とは、別に選考を行います。
教科等専門 (一部校種・教科には実技を含む) 200点	

1次選考を突破するためには…

<合格のパターン>

- 一般・教職で基準点に達する
- 教科等専門で1次合格順位に達する

自分に必要な勉強を！

第1次選考免除制度

[実施要項P8, 9参照](#)

全部免除

免除となる試験	対象者
一般・教職 & 教科等専門	ア 他都道府県国公立学校での正規勤務経験者
	イ 昨年度第1次選考の合格者 (講師等経験者および大学院在学者)
	ウ 昨年度「チャレンジ第1次選考」合格者
	エ 県内国公立学校勤務の講師等経験者 (60月以上経験者)※令和7年3月31日時点で

第1次選考免除制度

[実施要項P10参照](#)

一部免除

免除となる試験	対象者
一般・教職	オ 他都道府県国公立学校での正規勤務経験者 (勤務歴のない校種・教科等で受験する場合)
	カ 昨年度基準点到達者 (講師等経験者および大学院在学者)
	キ 昨年度「チャレンジ第1次選考」基準点到達者
	ク 国際貢献活動経験者で、 原則として教育に関する活動を行ってきた者
	ケ 教職大学院2年在学者(3年コース3年在学者)で、 直近の試験において免除条件を満たす者
	コ 嶺南地域教育プログラム修了(見込)者 (嶺南採用枠希望者)

一般選考の試験について

第2次選考（8月実施）

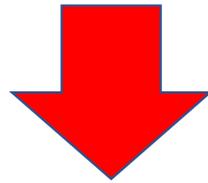
- ◎ 適性検査（→ オンラインで実施）
- ◎ 小論文
- ◎ 個人面接（同じ面接方式で2回実施）

第2次選考対象者は、第1次選考合格者と
第1次選考全部免除者です。

※チャレンジ第1次選考を含む

第2次選考で重視されること

2回の個人面接で一層の人物重視



- ・子どもたちはもとより、同僚や保護者、地域の方とも円満な人間関係を築けるか
- ・課題に対して、臨機応変に対応できるか

VIII 選考基準

1 一般選考

[実施要項P27参照](#)

(1) 第1次選考 ※基準点については公表していません。

選考内容		選考基準
一般・教職	100点	<ul style="list-style-type: none"> ・「一般・教職」が基準点に達した者に対して、「教科等専門」に「教育職員免許状複数所有による加点」、「司書教諭資格による加点」、「外国語資格による加点」、「情報関連資格による加点」を加えた点数順に選考する。 ・第1希望、第2希望のそれぞれについて合否を判定する。
教科等専門 (一部校種・教科には実技を含む)	200点	

(2) 第2次選考

選考内容		選考基準
個人面接	250点	<ul style="list-style-type: none"> ・校種・教科別に「個人面接・小論文の結果」に「教育職員免許状複数所有による加点」、「司書教諭資格による加点」、「外国語資格による加点」、「情報関連資格による加点」を加えた点数順に選考する。ただし、個人面接が基準に達していない場合には、不合格とする。 ・第1希望、第2希望ともに合格基準にある場合は、第1希望での合格とする。
小論文	50点	

2 チャレンジ第1次選考 ※基準点については公表していません。

選考内容		選考基準
一般・教職	100点	<ul style="list-style-type: none"> ・「一般・教職」が基準点に達した者に対して、「教科等専門」の点数順に選考する。 ・第1希望、第2希望のそれぞれについて合否を判定する。 ★「一般選考」の第1次選考とは、別に選考を行います。
教科等専門 (一部校種・教科には実技を含む)	200点	

加点制度

[実施要項P5参照](#)

- 教育職員免許状複数所有による加点
- 司書教諭資格による加点
- 外国語資格による加点
- 情報関連資格による加点

「一般選考」で受験する場合に限り、
上記の免許状・資格を有し、条件を満たす者は、
出願時に申請を行うことで、
第1次選考・第2次選考のそれぞれで加点します。
(複数の加点制度を併用することも可能です。)

加点制度

教育職員免許状複数所有（取得見込を含む）

- 教育職員免許状複数所有による加点は「一般選考」についてのみ行います。
- 対象ごとに5点または10点を加点します。
- 加点は対象ごとに加算し、15点を上限とします。

受験する 校種・教科等	加点の対象となる普通免許状		
小学校	特別 支援 学校 教諭 の 普通 免許 状		中学校教諭の普通免許状 (数学、理科、英語、保健体育)
中高一括 (全教科)		高等 学校 教諭 「情報」 の 普通 免許 状	小学校教諭の普通免許状
中学技術			高等学校教諭「工業」の普通免許状
高校 (農業、工業、商業、福祉)			
高校 (情報)			
加点	10点	5点	5点 (いずれか1つのみ)

受験する 校種・教科等	加点の対象となる普通免許状		
小学校	特別支援学校教諭の 普通免許状		中学校教諭の普通免許状 (数学、理科、英語、保健体育)
中高一括 (全教科)		「情報」の 高等学校教諭 の 普通免許状	小学校教諭の普通免許状
中学技術			高等学校教諭「工業」の普通免許状
高校 (農業、工業、商業、福祉)			
高校 (情報)			
加点	10点	5点	5点 (いずれか1つのみ)

受験する 校種・教科等	加点の対象となる普通免許状		
小学校	特別支援学校教諭の 普通免許状		中学校教諭の普通免許状 (数学、理科、英語、保健体育)
中高一括 (全教科)		高等学校教諭 「情報」の 普通免許状	小学校教諭の普通免許状
中学技術			高等学校教諭「工業」の普通免許状
高校 (農業、工業、商業、福祉)			
高校 (情報)			
加点	10点	5点	5点 (いずれか1つのみ)

受験する 校種・教科等	加点の対象となる普通免許状		
小学校	特別 支援 学校 教諭 の 普通 免許 状		中学校教諭の普通免許状 (数学、理科、英語、保健体育)
中高一括 (全教科)		高等 学校 教諭 「情 報」 の 普通 免許 状	小学校教諭の普通免許状
中学技術			高等学校教諭「工業」の普通免許状
高校 (農業、工業、商業、福祉)			
高校 (情報)			
加点	10点	5点	5点 (いずれか1つのみ)

受験する 校種・教科等	加点の対象となる普通免許状		
小学校	特別支援学校教諭の 普通免許状		中学校教諭の普通免許状 (数学、理科、英語、保健体育)
中高一括 (全教科)		高等学校教諭 「情報」の 普通免許状	小学校教諭の普通免許状
中学技術			高等学校教諭「工業」の普通免許状
高校 (農業、工業、商業、福祉)			
高校 (情報)			
加点	10点	5点	5点 (いずれか1つのみ)

- **免許状の種類（専修免許状、一種免許状、二種免許状）は問いませんが、特別免許状および臨時免許状は除きます。**
- **第1次選考、第2次選考のそれぞれで加点します。**
- **取得見込みによる申請も可能です。**
ただし、令和8年3月31日までに加点対象となった教員免許状が取得できなかった場合は、**選考結果（採用内定 および 全部免除の資格）を取り消す場合があります。**

加_点制_度

司_書教_諭資_格（取_得済_のみ）

- 司_書教_諭資_格による加_点は、「一_般選_考」についてのみ行_いま_す。
- 司_書教_諭資_格所_有者_に 5 点_を加_点し_ます。
- 司_書教_諭資_格取_得済_み者_を加_点対_象と_しま_す。
（取_得見_込み_は対_象外_です。）

加点制度

外国語資格による加点（取得済のみ）

- ・外国語資格による加点は、「一般選考」についてのみ行います。
- ・次の言語の資格**取得済み者を加点対象**とします。
(**取得見込みは対象外**です。)

英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語

- ・異なる言語の資格を有する場合、それぞれで加点

加_点制_度

情報_関連_資格_によ_る加_点（取_得済_のみ）

- ・情報_関連_資格_によ_る加_点は、「一_般選_考」につ_いての_み行_いま_す。
- ・対_象資_格の取_得済_みの_者を加_点対_象と_しま_す。
（取_得見_込みは対_象外_です。）

対象となる校種・教科等	対象となる資格	加 点
「小学校」、 「中高一括（全教科）」、 「高校（情報以外）」、 「特別支援学校」 「養護教諭」、「栄養教諭」	①Microsoft Office Specialist (MOS) ※1	①～③のいずれかの 資格所有で5点加 点 〔 <u>加点の上限は5点と</u> する。〕
「中学技術」、「高校情報」	②IT パスポート試験 ※2 ③基本情報技術者試験 ※2	①5点 ②5点 ③10点 〔 <u>加点は対象ごとに</u> 加算し、 <u>加点の上限は</u> <u>10点とする。</u> 〕

※1…「MOS Associate」以上のMOSの称号を有する者とする。(Officeのバージョンは不問)

↑一般レベル(Excel、Word、PowerPoint、Outlook)の4科目のうち3科目を取得

※2…②および③においては、いずれも平成21年度春期以降に独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が実施する各試験において合格した者とする。

チャレンジ第1次選考

【受験の流れ】（例：大学3年生で受験する場合）

【大学3年生】（※今年度）

< チャレンジ第1次選考 >

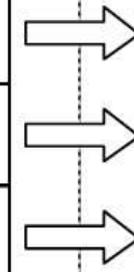
第1次選考	
一般・教職	教科等専門
受験	受験
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> 加点制度は利用不可 </div>	



選考結果	
合格	
不合格	基準点○
	基準点×

…

免除資格
全部免除
一部免除
免除なし



【大学4年生】（※次年度）

< 一般選考 >

第1次選考	
一般・教職	教科等専門
免除	免除
免除	受験
受験	受験

- 校種教科等によって併願可能
- × 加点制度の利用は不可

- × 次年度に募集がない場合、受験不可
- 他の教科での受験の場合、「一部免除」で受験可

嶺南採用枠について

実施要項P16参照

嶺南地域の教育振興のために、一般選考において『嶺南採用枠』を新設しました。

☆ 採用数 と 採用校種

10名程度

受験できる校種・教科等

教諭	小学校					
	中高一括	中高国語 中高音楽	中高社会 中高美術	中高数学 中高保体	中高理科 中高家庭	中高英語
	中学校	中学技術				
	高等学校	高校農業	高校工業	高校商業	高校情報	
	特別支援学校	(特別支援学級を含む)				
	養護教諭					
	栄養教諭					

嶺南採用枠について

実施要項P16参照

☆ 受験資格

- ・ 小学校教諭普通免許状を所有する者
または 令和8年3月31日までに取得見込みのもの

必須！

- ・ 中学校教諭普通免許状を所有する者
または 令和8年3月31日までに取得見込みのもの

**中高一括、中学技術で
受験する場合のみ**

勤務条件 『採用から10年以上、嶺南地域で勤務』

嶺南採用枠について

[実施要項P16参照](#)

☆ 試験内容

- ・第1次選考 一般・教職、教科等専門（一般選考と同様）
- ・第2次選考 小論文、面接（一般選考と同様）に加え
嶺南地域の教育に関する内容を問う面接

☆ 免除資格

福井大学嶺南地域教育プログラム修了（見込）者は、一般選考の一般・教職を免除（一部免除）

[チャレンジ第1次選考でも嶺南採用枠を希望できます](#)

☆ 加点申請

一般選考と同様に加点申請できます

[ただし、合格して得た免除資格は次年度も嶺南採用枠を希望することが条件](#)

嶺南採用枠について

実施要項P16参照

一般選考で第1希望、第2希望を申請し、

第1希望のみ嶺南採用枠を希望できます。

第1希望	第2希望
小学校	なし

嶺南採用枠希望

嶺南採用枠について

実施要項P16参照

第1希望、第2希望の併願も可能です。

ただし、嶺南採用枠の希望は第1希望のみです

第1希望	第2希望
中高数学	小学校

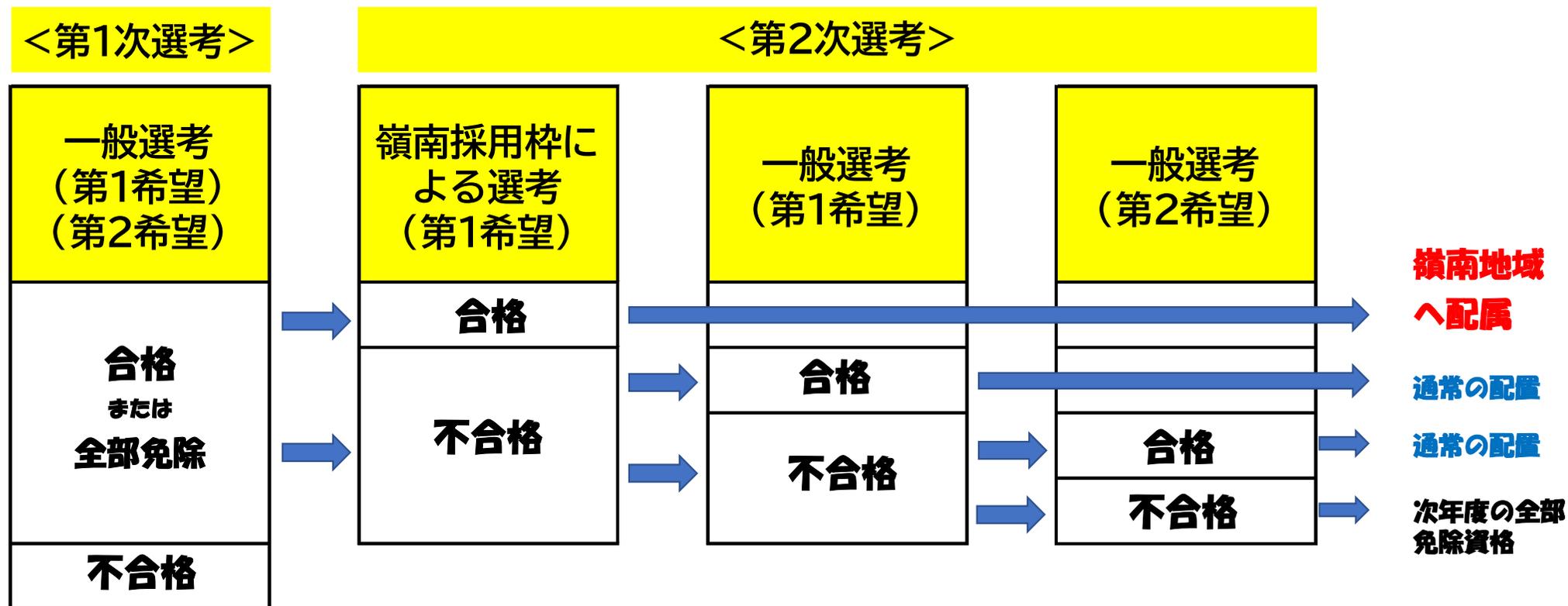
嶺南採用枠希望

嶺南採用枠について

実施要項P16参照

☆ 選考について

- ① 第1次選考は、嶺南採用枠希望の有無に関係なく選考します。
- ② 第2次選考は、嶺南採用枠希望者のみで選考します。(第1希望のみ)
- ③ ②で不合格となった場合、一般選考で選考します。(第1、第2希望の両方)



大学院進学を考えている方へ

[実施要項P14, 15参照](#)

教採
受験

- 大学または大学院在籍時
- 一般選考として受験（届け出は必要）

合格

- 大学院特別選考受験資格付与

大学院
在籍時

- 中間報告会（院特受験まで1年以上の期間がある場合）

院特
受験

- 大学院卒業年度に特別選考として受験
- 適性検査、レポート提出、個人面接

詳細は実施要項で確認してください

次年度以降の
教員採用試験
について



もしも不合格になってしまったら…

福井県に講師登録

をしてください！

- 現場で経験を積みながら**実力アップ**を図れます
- **免除制度（一免、全免）**を利用して**有利に受験**できます
- 給与収入も得られます。
（講師としての経験年数は初任給に影響）

福井県で講師をすると…

- 現場で経験を積みながら**実力アップ**を図れます
「ふくい教育」を支える個性豊かで、さまざまな教育観をもつ先生方とともに働くことで、実践的な指導力を身につけることができる！



教員としての悩みや失敗も将来の糧に！
自分なりの教育観が見えてくる！

→選考試験の面接、小論文へ

福井県で講師をすると…

• **免除制度**を利用して**有利に受験**できます

全部免除(イ) 昨年度第1次選考の合格者

全部免除(工) 60月以上経験者

一部免除(力) 昨年度基準点到達者



1次選考の全部または一部(一般・教職)が免除されるので、2次選考の面接、小論文への対策に専念できる！

福井県で講師をすると…

- **給与収入**も得られます。 ※職種・勤務形態により異なります
新卒正規教諭の初任給と遜色がない支給額
ボーナス(期末・勤勉手当)も支給される
福利厚生も正規職員に準ずる

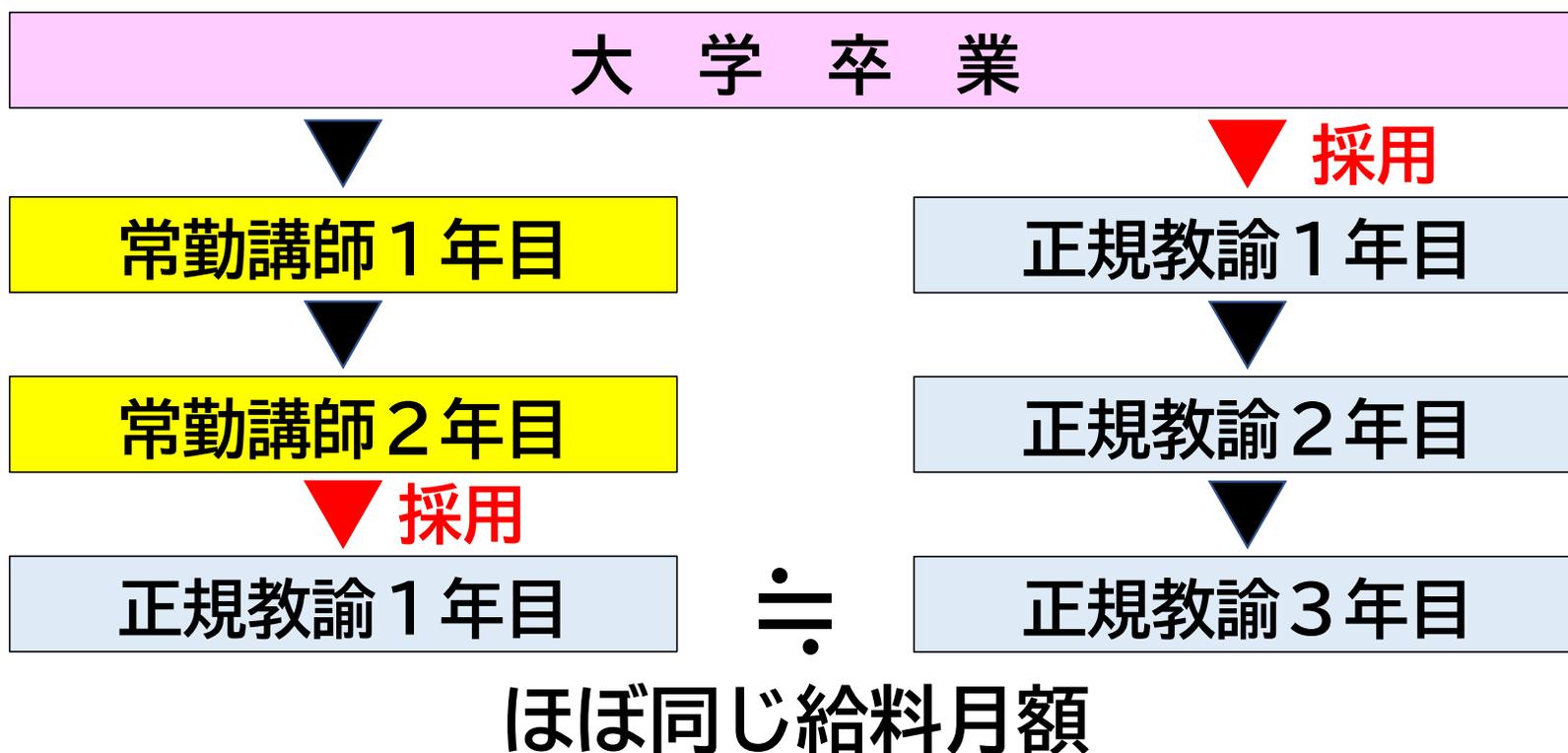


初任給の算定時に、経験年数として反映！
(講師経験は、正規教諭として働いていたことと
同等の経験とみなされる)

初任給の算定時に、経験年数として反映！

(講師経験は、正規教諭として働いていたことと同等の経験とみなされる)

【イメージ】 ※実際は、諸条件により異なる場合もあります



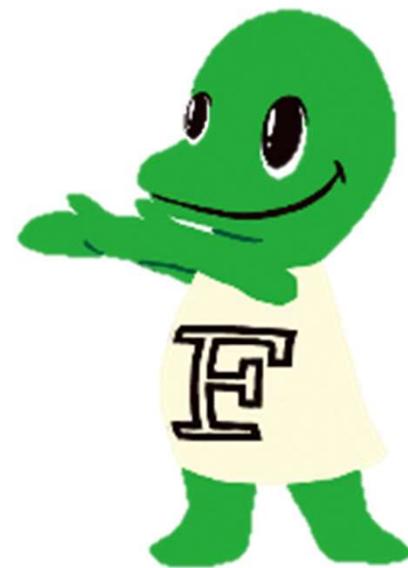
ぜひ福井県で講師登録

をしてください！

- 現場で経験を積みながら**実力アップ**を図れます
- **免除制度（一免、全免）**を利用して**有利に受験**できます
- 給与収入も得られます。
（講師としての経験年数は初任給に影響）

○採用試験の制度は、**年度が変わるたびに**
若干の変更があります。

○ホームページで**常に採用試験の最新情報**
をチェックしてください。



福井県の教員を目指すあなたへ

福井県の教員は、その一人一人が
これからの社会を担う子どもたちの力を
引き出すため、日々、真剣に子どもたちと
向き合っています。

また一人一人が「福井の先生」として
やりがいと誇りを持って日々の仕事に
取り組んでいます。

みなさんと一緒に
働くことのできる日を
楽しみにしています!



本日は、ありがとうございました!

ふくい駅

